

テーマ：『 私たちの山田川 』

嘉麻市立 下山田小学校

Tel. 0948-52-0309 担当 宮田 賢
者：



■実践内容：

下山田小学校では4年生の「総合的な学習の時間」において、ゲンジボタルやサケの飼育・観察を通して、子どもたちが身近な河川（山田川）への関心をもち、川を汚さない、ゴミを捨てないといった道徳的価値観を育む取り組みを行いました。昨年度の三学期にサケを孵化させ、稚魚を飼育し、山田川に放流しました。放流するとき川の水質を調べ、山田川が汚れている現状を知りました。山田川をきれいにするために自分たちでできることを調べ、「えひめAI2」という微生物を使って水をきれいにする取り組みを見つけました。そして、実際に納豆菌やヨーグルトの菌から「えひめAI2」を作り、小学校で使いました。

■実践成果：

これらの活動を通し、子どもたちに「ゲンジボタルを大切にしたい。」「山田川をきれいになりたい。」という思いを育みました。活動の成果がすぐには表れず、来年にならないとゲンジボタルが飛ぶ様子を見ることはできませんが、自然を守る活動も同様に、今の取り組みの成果が必ず未来に現れることを信じて、子どもたちは学習を進めることができました。

■実践ポイント：

身近な川の水質調査を通して、川が予想以上に汚れていることを実感させることができました。それが、その後の子どもたちの環境問題に対する自発的な活動につながりました。また、河川に近づく活動が多いので、児童の安全確保

に注意しながら活動を進めました。